

## 報 告 書

令和 6 年度教育委員会の権限に属する事務の  
管理及び執行状況についての点検及び評価

(令和 5 年度対象)

吉富町教育委員会

## 目 次

教育委員会の事務の管理及び執行状況についての 点検・評価制度について	1
I 教育委員会の活動	1
II 教育委員会が管理・執行する事務	4
III 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	
1 「未来社会の創り手」を育む学校教育の推進	7
2 地域全体で子どもの育成を支える環境づくり	8
3 多彩な学習機会の提供	9
外部評価者の所見	10

## ◆ 教育委員会の事務の管理及び執行状況についての点検・評価制度について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条第 1 項の規定により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行について、点検及び評価を行い、報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされております。また、第 2 項の規定により、点検及び評価に際し、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされております。

その趣旨に則り、教育委員会では、地域の教育課題や教育ニーズに応じた基本的な教育の方針や計画を策定し、学識経験者の知見を活用し、自ら点検・評価・公表を行います。町民に対する説明責任を果たし、町民の信頼を高め、開かれた教育行政の推進につなげていきたいと考えております。

以下は、令和 5 年度の吉富町教育委員会の活動を、

### I 教育委員会の活動

### II 教育委員会が管理・執行する事務

### III 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

の 3 項目に分類し、教育委員会が自らその進捗状況・達成状況等について点検・評価を実施し、報告書としてまとめたものです。

#### \* 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 抜粋

（教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### I 教育委員会の活動

#### 1 教育委員会会議の運営に関するこ

（内容）教育委員会会議の開催回数 定例会 10 回 臨時会 2 回

（具体的な事項）

##### ① 令和 5 年 4 月 25 日（4 月定例会）

・令和 5 年度教育施策について

##### ② 令和 5 年 5 月 10 日（5 月臨時会）

・吉富小学校における重大事態の認定について

##### ③ 令和 5 年 5 月 31 日（5 月定例会）

・吉富小学校における重大事態について

・準要保護生徒児童数について

・令和 5 年度一般会計補正予算（第 1 号）のうち教育費に係る部分に同意すること

について

④ 令和 5 年 6 月 30 日 (6 月定例会)

- ・6 月定例町議会の報告について
- ・吉富小学校における重大事態について

⑤ 令和 5 年 7 月 31 日 (7 月定例会)

- ・準要保護生徒児童数について
- ・吉富小学校における重大事態について
- ・令和 5 年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価 (令和 4 年度対象) について
- ・教科用図書の選定について

⑥ 令和 5 年 9 月 29 日 (9 月定例会)

- ・9 月定例町議会の報告について
- ・準要保護生徒児童数について
- ・吉富小学校における重大事態について
- ・人権学習会 (ハンセン病問題 D V D 視聴)

⑦ 令和 5 年 10 月 24 日 (10 月定例会)

- ・準要保護生徒児童数について
- ・吉富小学校における重大事態について
- ・人権研修会 (京築教育事務所大川指導主事講話)

⑧ 令和 5 年 11 月 10 日 (11 月臨時会)

- ・吉富小学校における重大事態について

⑨ 令和 5 年 11 月 30 日 (11 月定例会 吉富小学校開催)

- ・吉富小学校における重大事態について
- ・令和 5 年度一般会計補正予算 (第 6 号) のうち教育費に係る部分に同意することについて
- ・吉富小学校視察

⑩ 令和 5 年 12 月 22 日 (12 月定例会)

- ・12 月定例町議会の報告について
- ・吉富小学校における重大事態について
- ・吉富町立学校に勤務する県費負担職員の自家用車による公務出張に関する取扱要領の制定について
- ・吉富町立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について

⑪ 令和 6 年 2 月 29 日 (2 月定例会)

- ・吉富小学校における重大事態について
- ・令和 5 年度一般会計補正予算 (第 10 号) のうち教育費に係る部分に同意することについて
- ・令和 5 年度奨学金特別会計補正予算 (第 1 号) に同意することについて
- ・令和 6 年度一般会計予算のうち教育費に係る部分に同意することについて
- ・令和 6 年度奨学金特別会計予算に同意することについて
- ・吉富町立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について

・教諭等の標準的な職務の内容及びその例並びに教諭等の職務の遂行に関する要綱の制定について

・養護教諭、養護助教諭及び栄養教諭の標準的な職務の内容及びその例並びに職務の遂行に関する要綱の制定について

#### ⑫ 令和6年3月18日（3月定例会）

・吉富小学校における重大事態について

・令和6年度吉富小学校学校運営協議会委員の任命について

・吉富町指導主事の任命について

・吉富町指定文化財の指定について

・教育委員会教育長の辞職の同意について

・「教育委員評価」 A

・月1回定期的に教育委員会の開催、人権研修会2回、更には学校訪問にも参加し有意義であった。

・事前に資料を届けていただき、県からの報告も的確かつ丁寧に説明受け、委員として自由に意見を言える環境にあってとても良い。

## 2 教育委員会と首長の連携に関するこ

（内容）総合教育会議の開催状況等

・令和4年度11月に開催し、大綱を改定したため、令和5年度の開催はなかった。

「教育委員評価」 B

・町全体でのSDGs、脱炭素教育が盛り込まれ大いに期待する。

## 3 教育委員会会議の公開等に関するこ

（内容）会議の傍聴状況・広報・会議録の公開状況等

（具体的な事項）会議の傍聴者なし。会議録の開示請求等はなかった。

「教育委員評価」 B

・議事録はあるので、個人情報に配慮しつつ公開の考え方や方向性を検討する機会をもってはどうか。

・会議の傍聴の方法を広報等で知らせる必要がある。

## 4 教育委員の自己研鑽に関するこ

（内容）研究会等への参加状況

（具体的な事項）

・令和5年度京築教育事務所管内市町教育委員会教育委員等人権教育研修会5月

- ・令和5年度福岡県市町村教育委員会「新任教育委員研修会」 7月
- ・第14回九州地区市町村教育委員会研修大会 8月
- ・令和5年度福岡県市町村教育委員会教育委員研修会 11月
- ・吉富町重層的支援体制に関する講演会 12月
- ・京築地区市町教育委員会教育委員等研修会 1月
- ・9月定例教育委員会でDVD視聴「ハンセン病問題」
- ・10月京築教育事務所指導主事講話「人権研修会」

「教育委員評価」 A

- ・九州地区市町村教育委員会研修大会に参加でき、他の地域の教育委員との交流もあり、ためになる研修だった。
- ・京築教育事務所開催の研修が充実しており、大変勉強になった。

## 5 学校その他教育施設に対する支援等に関すること

(内容) 学校訪問等

(具体的な事項)

- ・吉富小学校にて重大事態の状況を校長から聞くことができ、併せて移動教育委員会 11月

「教育委員評価」 A

- ・学校訪問の際、児童の学ぶ姿が参観でき大変良かった。特に低学年からタブレットを使った授業を参観出来てよかったです。
- ・1年生から6年生まで授業の様子を参観でき、子どもたちが元気な様子がうかがえてよかったです。

## II 教育委員会が管理・執行する事務

	評価項目	内 容
1	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	・総合教育会議で作成した「教育大綱」を踏まえ、年度当初に「吉富町の教育施策（令和5年度）」等の方針を決定した。

【教育委員評価】 A

- ・国や県の方針に基づき、子どもたちのことを考えた地域に根差した方針が定められている。また、中立性と安定性を保って行われている。
- ・町全体での取組であるSDGs、脱炭素教育を柱の一つに取り入れ全員の教職員研修が実施されていることは大変良い。

2	教育委員会規則及び規程を制定し、又は改廃すること	・吉富町立学校に勤務する県費負担職員の自家用車による公務出張に関する取扱要領の制定について ・吉富町立学校管理規則の一部を改正する規則の制定
---	--------------------------	---

	<p>について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教諭等の標準的な職務の内容及びその例並びに教諭等の職務の遂行に関する要綱の制定について</li> <li>・養護教諭、養護助教諭及び栄養教諭の標準的な職務の内容及びその例並びに職務の遂行に関する要綱の制定について</li> </ul>
--	---

【教育委員評価】 A

- ・地域や子どもの実態に合わせて、規則や規程等の制定及び改廃がなされている。

3	教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度一般会計補正予算（第1号）</li> <li>・令和5年度一般会計補正予算（第6号）</li> <li>・令和5年度一般会計補正予算（第10号）</li> <li>・令和5年度奨学金特別会計補正予算（第1号）</li> <li>・令和6年度一般会計予算</li> <li>・令和6年度奨学金特別会計予算</li> </ul>
---	-------------------------------	---

【教育委員評価】 A

- ・事前に資料が配付され分かりやすく説明され、協議、報告が十分なされている。

4	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな設置又は廃止はなかった。</li> </ul>
5	県費負担教職員の人事の内申に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員人事に際し、学校長の具申を受け、勤務年数実績や希望等を勘案し、京築教育事務所に内申を行った。</li> </ul>

【教育委員評価】 A

- ・管理職の指導が行き届き教職員の一体感を行事等で強く感じる。

6	教育委員会の所管に属する各種委員等の任命又は委嘱に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉富小学校学校運営協議会委員</li> <li>・吉富町指導主事</li> </ul>
---	--------------------------------	---

【教育委員評価】 A

- ・各分野から適切に人選された委員等により学校運営協議会等が運営されている。
- ・読書ボランティア等地域みんなで子どもを育てる風土・気運の高まりがよい。

7	教科用図書の採択の決定に関すること	・令和6年度使用小学校教科用図書の採択を行った。
---	-------------------	--------------------------

【教育委員評価】 A

- ・適切・公正に採択されている。

8	学区域を設定し、又は変更すること	・該当事項はなかった。
---	------------------	-------------

9	文化財を指定し、または指定を解除すること	・石造地蔵立像・石造観音坐像・石灯籠を有形文化財に指定した。また、古表神社の古地図「小祝ノ絵図面」を有形文化財の絵画として指定した。
---	----------------------	--

【教育委員評価】 A

- ・適切である。

10	請願、陳情、訴訟及び異議の申し立てに関すること	・該当事項はなかった。
----	-------------------------	-------------

### III 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

#### I 「未来社会の創り手」を育む学校教育の推進

教育施策の柱	項目	具体的取組	☆成果指標 ★取組指標	評価	◇：成 果 ◆：課 題	外部評価・コメント
脱炭素教育	実施、記録状況把握	・総合、教科等でテキストを活用	★小・中各学年間15時間程度の授業実施ができたか	A	◇各学年の授業実施ができた。	大学の講師を招いてSDGs教育研修会を実施し、脱炭素教育のテキストを使って学年ごとの指導計画の中に入れて、継続して実践してきたことは評価に値する。
		・残菜の運動、肥料づくり、野菜づくりの循環型	★循環型の花や野菜づくりができたか	A	◇中学校では循環型の肥料を作成し、花・野菜づくりが実施できた。小学校でも残菜が少ない状況にある。	給食指導での食品ロスの取組や残菜の運動、さらには野菜の芯などで肥料づくりをするなど循環型の生活システムを、野菜や花づくりを体験させての教育を重要視していることは評価に値する。
学力の向上（読む力書く力）	よしとみ（ふくおか）学力アップ推進事業の推進	・児童生徒の学力等の検査	★標準学力検査で向上が見られたか ★QU診断データが有効に活用されたか	A	◇中学校では標準学力検査の向上が著しく見られた。小学校では今後の伸びに期待する。 ◇QU診断を実施し、学級づくりに役立てることができた。	「全国学力・学習状況調査における標準化得点」の推移を見ると年々向上が見られてきたが、令和5年度は、国語、算数で全国平均をやや下回る状況となったことの課題分析をしっかり行うこと。
	寺子屋よしとみの推進	・小4～6年生の国語・算数の学力向上	★受講児童学年5名以上を確保できたか ★年度末の診断評価を実施できたか	B	◆受講者が6年生7名、5年生2名、4年生6名と15名ではあったものの、各学年5名以上では実施できなかった。 ◇学力テストは実施できた。	「寺子屋よしとみ」の成果をHPや広報を利用し地域に広げ、受講児童を増やす必要がある。
	外国語支援事業の推進	・外国語指導助手の配置	★小学校第1学年から6学年までのALTと教諭との授業が計画どおりにできたか	A	◇小学生では英語の授業すべてにALTが配置できた。	町の大切な施策である。継続的に取組をおこない適宜評価することで児童の学力向上に期待する。
	きめ細かな指導を実現する人材配置（特別支援）	・小学校の人材配置	★学習支援員1名、学習支援補助員3名の配置ができたか	B	◇年度当初は学習支援員が配置できなかったが、途中からは学習支援員1名、学習支援補助員3名の配置ができた。	生活面・学習面において効果のある取組として評価している。確実な配置を確保してほしい。
		・中学校の人材配置	★特別支援教育支援補助員2名の配置ができたか	A	◇特別支援教育支援補助員の配置ができた。	生活面・学習面において効果のある取組として評価している。確実な配置を継続してほしい。
I 活用	ICT機器を活用した教育の推進	・ICT機器の持ち帰りでの家庭学習 ・オンライン授業の試行	★計画的に持ち帰りでの活用がされているか（学期に5回以上） ★校外学習や家庭とのやりとりが実施されているか（学期に1回以上）	B	◇計画的に持ち帰りは実施できている。 ◆家庭とのやりとりができるといいがたい。	持ち帰って利用する課題提示が質量ともに適切である検証すべきである。また、家庭と学校との双方向の通信技術を向上させる必要がある。
キャリア教育の推進	キャリア教育の視点での授業づくり	・目標、めあてづくり ・振り返りのある授業づくり	★毎時間、授業の中でめあてを板書し、振り返りで自分のよさに気づかせる授業を行っているか	A	◇めあてと振り返りが実施でき、それぞれの進度が確認できている。	学期ごとに教師、児童生徒の授業アンケートを行い、点検評価していることが素晴らしい。今後も継続してほしい。
特別支援教育	保育園（所）・幼稚園への訪問指導による早期支援体制の整備	・訪問指導による早期の支援	★各学期毎の定期的な訪問指導ができたか	A	◇保健師等と連携し定期的に巡回訪問を行い、園児観察から個別の指導のあり方などの協議を行った。	幼児期から丁寧に指導する必要がある。また、親への教育のあり方を検討する必要がある。
		・専門員の配置	★子ども発達支援専門員の配置と活用ができたか	A	◇専門員への相談希望が多く、毎回（週1回）4～5名と相談されている。	保護者から感謝されている。なくてはならない取組なので、継続配置を望む。
いじめ等の対応	相談体制の整備と関係機関との連携	・スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーの配置	★小学校にスクールカウンセラー、中学校にスクールカウンセラー2名とスクールソーシャルワーカー1名の配置ができたか	A	◇小学校に1名のスクールカウンセラー、中学校に2名のスクールカウンセラー、1名のスクールソーシャルワーカーの配置ができた。	とても有り難いことです。継続して配置及び連携した教員研修を望む。
		・外部機関との連携	★学校・福祉部局と連携した家庭教育相談定例協議会を2回以上開催できたか	B	◆家庭教育相談定例協議会は実施できていないが、要保護児童対策連絡協議会等、必要な情報共有は実施できた。今後家庭教育相談定例協議会の意義は終了していると考えられるため、発展的に解消する。	場所や人には拘らないが定期的に情報交換し、きめ細やかな対応を望む。
健やかむな心育身	道徳の時間の充実 体力の向上	・指導計画、評価の指導	★重点目標を明確にした指導計画の作成指導ができたか	A	◇年間指導計画を作成し重点目標に沿って指導を行った。道徳教育をより重点的な取り組みにするため、来年度以降、道徳教育推進教師を配置するよう委員会からも指導する。	道徳教育の重要性から学校管理規則も改訂して、本人だけでなく学校総体として組織的に取り組むようしてもらいたい。
		・体力測定の実施	★学校一取組の指導助言がされているか	A	◇スポーツ推進委員の協力を得て、体力測定を実施した。	今後は、体力向上のため各学校において焦点化した運動の強化が必要である。

## II 地域全体で子どもの育成を支える環境づくり

教育施策の柱	項目	具体的取組	☆成果指標 ★取組指標	評価	◇：成 果 ◆：課 題	外部評価・コメント
家 庭 の 教 育 上 向 上	保護者への啓発・広報	・パンフレットの作成、配布 ・授業参観等による家庭教育の啓発	★学習規律、学力向上（家庭版）、ノーメディアチャレンジのパンフレットを作成し、配布できたか ★年1回以上、家庭教育講演会等が実施できたか	A	◇毎年度当初に作成配布を行っている。 ◇「ノーメディアチャレンジ週間」の成果指標は小・中学校ともに達成できた。	年3回の「ノーメディアチャレンジ週間」の取組の振り返りをきちんとして、次へと繋げてほしい。
安 全 確 保 ・ の	関係機関等との連携	・安全パトロール、自治会長会、民生委員との連携	★児童・生徒の登下校時の見守りや挨拶運動の実施ができたか 月2回（1日、20日）	A	◇学校運営協議会委員である、自治会長会を中心に、交通安全指導員も含め登下校時の見守りや、PTAのあいさつ運動が実施できた。	吉富町は地域の方々の目差しがあたたかい。とても感謝している。高齢化が進み、世代交代が必要である。
学 校 協 活 運 議 動	学校運営協議会の機能化	・支援から自立への活動	★助成金が交付できたか ★子どもの見守り活動への支援協力ができたか	A	◇助成金は交付できた。 ◆見守り活動への支援協力ができるといいがため、どのような支援が必要か検討する必要がある。	適切に予算の執行ができた。どのような場でどのような支援が必要なのか、学校から地域へ端居する場が必要である。
読 書 推 進 活 動	読書活動の機能化	・子ども読書活動推進協議会への支援	★第4次吉富町子どもの読書活動推進計画の見直しができたか	A	計画の見直しは無事終了した。	変更点の周知をして、確実な実施ができたかの検証が必要である。
		・団体等との連携協力	★就学前健診やこどもの森、小学校等でのおはなし会・読み聞かせなどの取り組みができたか	A	◇司書選定によるおすすめ本を、毎月、広報誌で掲載を行った。	毎月、広報誌で掲載できてたことは、素晴らしいことである。今後も続けてもらいたい。
キ ク 事 業 推 進 ツ ラ ズ の 進 づ の	子ども会、キッズクラブ等への活動支援	・地域活動指導員の配置	★活動のまとめとしてキッズフェスティバルが開催できたか (参加者300人以上)	A	◇地域活動指導員の配置により、通年や短期の事業を実施し、成果発表の場としてキッズフェスティバルを開催できた。	地域活動指導員の配置により、通年や短期の事業を実施でき、大変喜ばれている。今後も継続配置が必要である。
子 の 祭 参 加 文 化 も の 化 の	文化活動への子どもの参加	・学習成果を生かす場づくり	★町民文化祭で子どもの参加の工夫、展示の場ができたか ★工作、書、絵等授業での成果の展示ができたか	A	◇町民文化祭にて展示を行った。	コロナ感染拡大防止対策を十分に行った上で、工夫された事業が出来たことは評価できる。
ス ポ ー ツ 充 実 活 動	子どものスポーツ機会の充実	・よしとみスポーツクラブへの支援	★町民に多様なスポーツ機会を提供できたか (野球大会、卓球大会、バドミントン大会等)	A	◇スポーツフェスタよしとみを開催し、野球、ゴルフ、卓球、バドミントンの大会をそれぞれ実施できた。	各スポーツ事業の実施は大変喜ばれた。今後とも協賛も含めて、継続してほしい。
		・吉富ジュニアスポーツアカデミー事業への支援	★子どもたちに多様なスポーツ機会を提供できたか	A	◇通年教室として小学生、未就学児対象の事業を実施できた。	コロナ感染拡大防止対策を十分に行った上で、工夫された事業が出来たことは評価できる。

### III 多様な学習機会の提供

教育施策の柱	項目	具体的取組	☆成果指標 ★取組指標	評価	◇：成 果 ◆：課 題	外部評価・コメント
文化活動・保護文化等遺産	町民文化祭の充実と町民文化意識の向上	・吉富町民文化祭の開催	★指導者を招いての開会行事の企画運営の指導が行なわれたか	B	◇◆各部門の指導者と協議しての企画運営は実施できた。高齢化が進んでいるため、後継者の育成が必要になる。	後継者の育成のためにも、学校部活動の地域移行をスポーツ協会と協力して進める必要がある。
	地域文化活動の活性化	・文化財保護整備事業の実施	★予算確保と案内板等の補修・整備ができたか	A	◇文化財の説明看板について2基の補修・整備を行った。	今後とも点検を行い、適宜補修・整備を計画的に行う必要がある。
		・助成金の交付	★文化財保護団体等への助成金が交付できたか	A	◇団体からの交付申請にもとづき助成金を交付した。	計画的、正確に行うためにも早め早めにお知らせを行う。
生涯学習・材育成	生涯学習の支援体制整備	・地域活動指導員の配置と活用	★地域活動指導員を配置し、キッズクラブ事業が実施できたか	A	◇地域活動指導員の配置により、通年や短期の事業を実施できた。	通年や短期の事業を実施でき、参加者の評価も高かった。
	学習機会の充実	・生涯学習講座の開催	★通年教室として、5講座以上の開設ができたか ★1日教室の試行により、町民ニーズの把握ができたか	B	◇◆通年教室として、リサイクル・ハンドメイド・絵手紙の3講座を開催した。1日教室として、スマート教室、時短家事教室、短期教室として脳トレーリズム体操教室、歴史教室を実施し、新たなニーズのほりおこしを行った。	今後は、短期の事業の予定を早めにお知らせすることで、参加者の拡大が期待できる。
読書活動推進	図書室環境の充実	・町民のニーズに応じた図書購入	☆町民のニーズの把握ができたか	A	◇リクエストカードを配布し、利用者からのリクエストを参考に発注を行った。	リクエストカードの配布は有効であったため、継続してほしい。
	読書活動推進事業の充実	・新刊書、おすすめの本等の広報	★新刊書、おすすめの本、おはなし会情報を広報誌で紹介できたか	A	◇司書選定によるおすすめ本を、毎月、広報紙で掲載を行った。	毎月の広報紙において、図書や読書について関心を高めるような掲載をしていることは大いに評価できる。
スポーツの推進	スポーツ活動の推進	・スポーツ指導者の発掘・育成	★体育・スポーツ関係者に研修の場が提供できたか	A	◇夏季に少年スポーツ指導者向けの普通救命講習を実施した。	指導者の資質向上のため、今後とも研修の場を提供してほしい。
		・スポーツ協会の育成	★工夫した事業が実施できたか	A	◇スポーツフェスタよしとみ事業にて、野球、ゴルフ、卓球、バドミントンの大会実施ができた。	ゴルフ大会では、協賛者が増え、多くの参加者に景品が配布され大変喜ばれた。
		・研修等への参加促進	★町内外の研修等に積極的に参加できたか	A	◇実施された研修には参加した。	計画的に経験や役割に応じた研修に参加できる体制を期待する。
		・スポーツ関係団体の活動支援	★スポーツ協会への助成金の交付ができたか	A	◇助成金の交付を行った。	確実に助成金が計画的に交付できるように早めの準備を望む。
人権の教推育進等	人権尊重の理念の理解のための情報提供	・人権問題啓発強調月間や人権週間における啓発活動	★人権展の計画・実施ができたか ★人権問題に関する情報提供ができたか	A	◇7月の強調月間に人権展を実施し、12月の人権週間も併せ、懸垂幕の掲示をして周知啓発をした。	HPや広報誌も利用して、広く啓発できている。子どもたちの作品も展示紹介できているので、継続してほしい。
		・人権啓発講演会の実施	★講演会が実施できたか	C	◆他の事業との兼ね合いから講演会の開催が叶わなかった。次年度は実施できるよう予定を組む。	早め早めに計画をすること、担当者を複数置くことなど計画的・組織的に事業に取り組んでほしい。

# 令和6年度 学識経験者の意見について <令和5年度対象>

外部評価者 山 本



## I 「未来社会の創り手」を育む学校教育の推進

### 1 「脱炭素教育」持続可能な開発目標 S D G S 教育の推進について

昨年度、吉富町との連携で小中教員全員に、大学の講師を招いて S D G S 教育研修会を実施し、脱炭素教育のテキストを使って学年ごとの指導計画の中に入れて、継続して実践してきたことは評価に値する。特に、昨年度から、給食指導での食品ロスの取組や残菜〇運動、さらには野菜の芯などで肥料づくりをするなど循環型の生活システムを、野菜や花づくりを体験させての教育を重要視していることは評価に値する。

これからは、脱炭素教育が充実し子どもたちの意識が変わり日々の生活の行動へ、さらには家庭生活での行動に変わっていくことを期待する。是非とも吉富町の教育の目玉にしてもらいたい。

### 2 教育委員会の活動について

毎月定例の会議、臨時会議1回を開催し、教育施策の策定、教育費に係る一般会計予算・補正予算の同意、事務の点検及び評価等、会議は適宜・適切に行われている。いじめ重大事態として取り上げるかどうかの初期から臨時教育委員会を開催し審議をし、途中の経過についても毎月報告がなされている。今後も教育委員会に諮ったり報告したり常に一体となって取り組んでいいもらいたい。

人権に関する研修や教育事務所での部活動地域移行に関する研修にも参加されている。また、学校訪問をして、児童の様子や施設等も見学され直接激励されていることは大変良いことである。

### 3 学力の向上について

ここ数年の吉富町の「全国学力・学習状況調査における標準化得点」の推移を見ると年々向上が見られてきたが、令和5年度は、国語、算数で全国平均をやや下回る状況となったことの課題分析をしっかりと行うこと。

これまで、指導員等の人員配置や県学力アップ推進事業等の取組を継続してきたが大切なのは毎時間を指導される教師の力量アップであることを忘れてはいけない。年々若い教師が増加していく中、クラスを学習集団としてまとめる教師の原点ともいえる指導に今一度研修を深めていくことを期待する。

毎年、家庭学習の時間が全国平均より下回っているところが気にかかる。家庭との連携を図り、タブレットの持ち帰りによる家庭学習の指導に力を入れていく必要があろう。

### 4 ICT 活用について

情報コミュニケーション技術の基礎を養うため、指導計画を第一学年から六学年まで立てて日常的、継続的にしどうがなされている。週末にはタブレットを持ち帰っての宿題が行われるまでになっている。宿題からインターネットを活用した学習が自ら自動的に行われるようになることを望む。その際モラルとして、インターネットで、人を傷つけるような不適切な行為をしないなど、情報社会における正しい判断や望ましい態度をしっかりと育てていただきたい。

## 5 特別支援教育

保育園、幼稚園への定期的な訪問指導による早期支援体制がとられている。毎学期、心の相談員と一緒に訪問し指導されていることは評価に値する。今後とも継続していただきたい。なにより心強いのは子ども発達支援専門員の村上先生を継続して配置できていることである。

## 6 いじめや不登校、虐待等について

いじめ重大事態の発生で、学校全体がより一層敏感に観察し対応を行っていることと拝察する。月例報告を拝見すると若干いじめの発生件数が多いがアンテナを高くしていることや、児童からの報告が届きやすくなったととらえたい。集団での生活、トラブルはあるのが当たり前ではあるが、日頃から人権尊重の教育、心の教育での思いやり等教育の柱に据えて取り組んでいくべきである。また、自己肯定感の高い児童は人間関係も良好な関係を築けるようになることから、日頃の教育活動全体で、毎時間の授業で一人一人のよさを認めて認識させる教師の仕事が重要である。教育の本丸はやはり授業である。授業の中で望ましい人間関係を築いていくことである。

# II 地域全体で子どもの育成を支える環境づくりについて

## 1 キッズクラブ事業の推進について

地域活動指導員を配置し、ダンスや神楽等練習の成果発表として、今年も盛大に交通安全フェスタやスポーツフェスタとコラボして、キッズフェスティバルが盛況のうちに実施できたことは良かった。寒い天候にも関わらず参加者も多くてなにより。秋の町民文化祭も開催、参加者も500人を超えて良かった。作品出展者、生涯学習者の高齢化に伴う幅広い年齢層の会員掘り起しや募集増加を早急に考えていくべきであろう。

## 2 スポーツ活動の充実について

スポーツアカデミー事業として、子どもの森でのキンダー基礎運動指導、ジュニアアカデミーでの小学生への指導等スポーツに親しむ機会を提供している。この効果があり小中学生の体力が維持されていることは関係者の努力の賜物である。

今年度も70キロウォークが盛大に開催された。卓球大会やバトミントン大会もスポーツ推進委員、ボランティアの支援で開催された。実施することで組織としての企画運営のノウハウが引き継がれていくので今後とも継続してもらいたい。

# III 多様な学習機会の提供

## 1 文化活動・文化遺産の保護等について

町民文化祭の充実と町民文化意識の向上ためには、後継者の育成のためにも、学校部活動の地域移行をスポーツ協会と協力して進める必要がある。

また、地域文化活動の活性化のため、今後とも点検を行い、適宜補修・整備を計画的に行う必要があり、助成金の交付など事務処理については、計画的、正確に行うためにもにお知らせを行うようしてもらいたい。

## 2 読書活動の推進について

町民のニーズに応じた図書購入をするため、リクエストカードの配布は有効であった。今後も、継続してほしい。

また、新刊書、おすすめの本等の広報のコーナーを広報紙に設置して、図書館司書により図書や読書について関心を高めるような掲載をしていることは大いに評価できるので、是非継続してもらいたい。

## 3 スポーツの推進について

スポーツ指導者の発掘・育成については、指導者の資質向上のためにも、今後とも研修の場を提供してほしい。そのことが、スポーツ協会の育成のも繋がる。

また、研修等への参加促進のために計画的に経験や役割に応じた研修に参加できる体制を期待する。

なお、ゴルフ大会では、協賛者が増え、多くの参加者に景品が配布され大変喜ばれた。

最後に今後も確実に助成金が計画的に交付できるように早めの準備を望む。

# 令和6年度 学識経験者の意見について <令和5年度対象>

外部評価者 山 本



## I 「未来社会の創り手」を育む学校教育の推進

### 1 「脱炭素教育」持続可能な開発目標 S D G S 教育の推進について

昨年度、吉富町との連携で小中教員全員に、大学の講師を招いて S D G S 教育研修会を実施し、脱炭素教育のテキストを使って学年ごとの指導計画の中に入れて、継続して実践してきたことは評価に値する。特に、昨年度から、給食指導での食品ロスの取組や残菜0運動、さらには野菜の芯などで肥料づくりをするなど循環型の生活システムを、野菜や花づくりを体験させての教育を重要視していることは評価に値する。

これからは、脱炭素教育が充実し子どもたちの意識が変わり日々の生活の行動へ、さらには家庭生活での行動に変わっていくことを期待する。是非とも吉富町の教育の目玉にしてもらいたい。

### 2 教育委員会の活動について

毎月定例の会議、臨時会議1回を開催し、教育施策の策定、教育費に係る一般会計予算・補正予算の同意、事務の点検及び評価等、会議は適宜・適切に行われている。いじめ重大事態として取り上げるかどうかの初期から臨時教育委員会を開催し審議をし、途中の経過についても毎月報告がなされている。今後も教育委員会に諮ったり報告したり常に一体となって取り組んでいいもらいたい。

人権に関する研修や教育事務所での部活動地域移行に関する研修にも参加されている。また、学校訪問をして、児童の様子や施設等も見学され直接激励されていることは大変良いことである。

### 3 学力の向上について

ここ数年の吉富町の「全国学力・学習状況調査における標準化得点」の推移を見ると年々向上が見られてきたが、令和5年度は、国語、算数で全国平均をやや下回る状況となったことの課題分析をしっかりと行うこと。

これまで、指導員等の人員配置や県学力アップ推進事業等の取組を継続してきたが大切なのは毎時間を指導される教師の力量アップであることを忘れてはいけない。年々若い教師が増加していく中、クラスを学習集団としてまとめる教師の原点ともいえる指導に今一度研修を深めていくことを期待する。

毎年、家庭学習の時間が全国平均より下回っているところが気にかかる。家庭との連携を図り、タブレットの持ち帰りによる家庭学習の指導に力を入れていく必要があろう。

### 4 ICT 活用について

情報コミュニケーション技術の基礎を養うため、指導計画を第一学年から六学年まで立てて日常的、継続的にしどうがなされている。週末にはタブレットを持ち帰っての宿題が行われるまでになっている。宿題からインターネットを活用した学習が自ら自主的に行われるようになることを望む。その際モラルとして、インターネットで、人を傷つけるような不適切な行為をしないなど、情報社会における正しい判断や望ましい態度をしっかりと育てていただきたい。

## 5 特別支援教育

保育園、幼稚園への定期的な訪問指導による早期支援体制がとられている。毎学期、心の相談員と一緒に訪問し指導されていることは評価に値する。今後とも継続していただきたい。なにより心強いのは子ども発達支援専門員の村上先生を継続して配置できていることである。

## 6 いじめや不登校、虐待等について

いじめ重大事態の発生で、学校全体がより一層敏感に観察し対応を行っていることと拝察する。月例報告を拝見すると若干いじめの発生件数が多いがアンテナを高くしていることや、児童からの報告が届きやすくなったととらえたい。集団での生活、トラブルはあるのが当たり前ではあるが、日頃から人権尊重の教育、心の教育での思いやり等教育の柱に据えて取り組んでいくべきである。また、自己肯定感の高い児童は人間関係も良好な関係を築けるようになることから、日頃の教育活動全体で、毎時間の授業で一人一人のよさを認めて認識させる教師の仕事が重要である。教育の本丸はやはり授業である。授業の中で望ましい人間関係を築いていくことである。